



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 11 令和元年9月 長野市



第11号

公民連携による「(仮称)山の駅 飯綱高原」の整備

市では、飯綱高原一帯の観光施設の整備を計画しています。温暖化による雪不足、スキー人口の減少等で厳しい経営状態が続くスキー場を民営化または廃止する方針で、スキー場中心の「ウィンターシーズン」の観光戦略から、キャンプ場や水辺を中心とした「グリーンシーズン」への転換を図ります。

飯綱高原の現状と課題

- ①スキー場の厳しい経営状況
- ②観光施設の老朽化と魅力不足
- ③多様化するレジャーへの対応力不足
- ④グリーンシーズンの誘客の核となる施設がない
- ⑤観光施設の低い収益性 など



ウィンターシーズンからグリーンシーズンへの転換

- 方針1：スキー場施設の譲渡等により民営化
※譲渡困難な場合は廃止
- 方針2：「(仮称)山の駅 飯綱高原」の整備
- 方針3：既存観光施設のリニューアル
- 方針4：優れた地域資源の保全と活用



飯綱高原の中で、重点地域となっているのが、大座法師池を中心としたエリアです(左図)。

このエリアに、飯綱高原におけるグリーンシーズンの新たな産業と観光の拠点として「(仮称)山の駅 飯綱高原」を整備するとともに、既存の飯綱高原キャンプ場等をリニューアルし、これらを一体的に運営することで、地域の活性化につなげていきます。

また、自然環境を活用した新たなアクティビティの提供や、地域の農産物等を活用した「食の提供」を通じ、飯綱高原のブランド化と交流人口の増加を目指します。

この「(仮称)山の駅 飯綱高原」をよりよい施設とするため、民間の力を導入した公民連携(PPP)に取り組んでまいります。



「(仮称)山の駅 飯綱高原」はこんな機能を想定しているよ！

- ① 飲食施設：地元食材の活用、Wi-Fi完備「森のワークスペース」
- ② アクティビティ施設：雨でも遊べる大型遊具など
- ③ 物販施設：朝穫れ野菜、キャンプ客向けの販売 など

詳細はHPへ！



長野市PFI事業等審査委員会

この「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備事業では、新たな公民連携(PPP)手法を取り入れます(詳細は次ページ参照)。事業者の選定や、事業者に対する要求水準については、「長野市PFI事業等審査委員会」で審議します。7月18日(木)に第1回の委員会を開催し、弁護士、公認会計士、大学教授など各分野の専門家である5名の外部委員に委嘱書を交付しました。



「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備事業で導入 ～新たな公民連携(PPP)手法 小規模な整備にも民間の力を！～

PPP/PFIの推進

公共施設の整備事業に民間の活力を導入するなど、より効果的な手法を取り入れることも公共施設マネジメントの取り組みのひとつです。このように公共施設の整備等に対し公民が連携することを「PPP」といい、その中でPFI法に基づき、民間の資金や技術力等を活用する手法が「PFI」です。

PPP (Public Private Partnership)

PFI (Private Finance Initiative)

例:「温湯温泉 湯～ぱれあ」

DB (Design Build)

例:「松代荘」など

指定管理者制度

※市内347施設で実施

その他...

※DBOなど

「PFI」は、事前の導入可能性調査などに2～3千万円の経費が見込まれることや、契約までに長期にわたる手続きが必要なことから、事業費総額が10億円以上の大規模な整備事業の場合などに、優先的に検討することとしています。長野市では、平成18年度にオープンした温湯温泉「湯～ぱれあ」の整備運営事業（総事業費：約22億円）でこの手法を取り入れています。



県内初のPFI導入施設「湯～ぱれあ」

小規模な公の施設整備事業

「PFI」は、民間の資金や経営能力等を活用できることから、公共施設の整備などに有効な手法ですが、市は導入可能性調査等の経費がかかり、民間事業者も事業を実施するための特定目的会社（SPC）を設立する必要があるなど、双方にとって負担が大きく、小規模な施設の整備事業には、導入しにくい傾向があります。

そこで、「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備事業のように、「PFI」を導入するほど大規模な事業でなくても、施設整備・運営に民間ノウハウを活用することが有益と考えられる事業には、コストを抑え、できる限りリスクを回避しつつ、民間事業者が参入しやすい仕組みが必要です。

そこまで大規模な整備じゃないけど、いい方法はないかな...



「(仮称)山の駅 飯綱高原」で導入！～「DB+指定管理」～

本市でも実績のある手法が「DB方式」です。「DB」とは、「Design(設計) Build(建設)」の略で、施設の設計と建設を一括して委託発注する手法です。市内では、「松代荘」や「Uスタジアム」などで実施しており、事務負担、費用などの面で比較的取り入れやすい手法です。

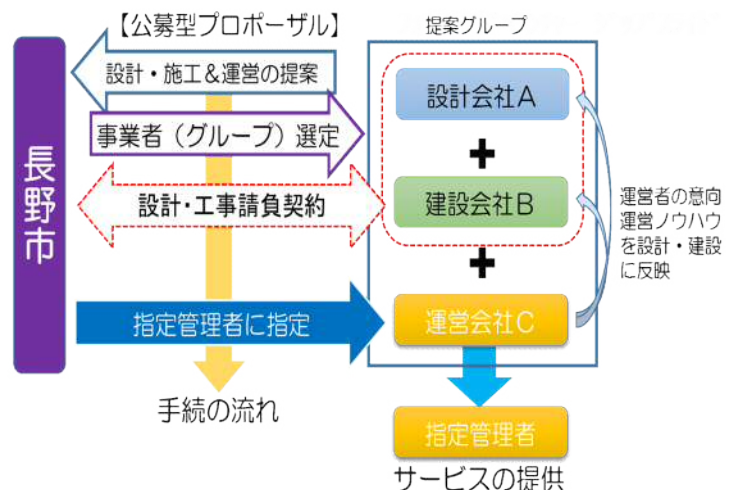
また、施設運営の手法として、現在市内347施設で導入しているのが「指定管理者制度」です。公の施設の管理・運営を民間事業者が行う手法です。

この「DB方式」と、「指定管理者制度」を組み合わせ、小規模な施設整備・運営事業にも民間事業者のノウハウを取り入れられる仕組みが「DB+指定管理」です。

設計・建設・運営に係る事業者を一括プロポーザル方式により決定し、ここで決定した事業者がその後の施設管理を行う指定管理者となります。

これにより、**施設を建てた後の管理運営を見据えたよりよい設計・施工が期待できます。**「(仮称)山の駅 飯綱高原」整備事業ではこの手法を取り入れる予定です。

DB+指定管理手法イメージ



個別施設計画の策定を進めています！

個別施設計画とは？

「公共施設等総合管理計画」に基づき、令和2年度までに小中学校、市営住宅などの施設分野ごとに、今後10年間の施設の具体的な対策を示すものが「個別施設計画」です。市民の皆さまからの意見や地域の状況などを踏まえ、施設ごとに長寿命化、複合化、民営化、廃止などの方向性を検討しています。

市民プール編の個別施設計画、策定しました！

平成31年4月、市民プール編の個別施設計画を策定しました。本市は、屋内プールを含め12のプールを保有し、中核市（48市）中、施設数で3位、水面面積で1位と保有量が多い現状にあります。建設から40年以上経過しているプールが多く、今後10年間の改修・改築費用は、16億円以上と見込まれています。

個別施設計画では、「屋内プールは長寿命化、屋外プールは施設の統廃合」という総合管理計画の方針のもと、利用率が減少傾向の屋外プールは、エリアを設定し統廃合を進めていく方針です。



詳細はHPへ！

【現状】

	屋外	屋内
北 部	3	1
中 部	3	1
南 部	3	1



【将来像】

	屋外	屋内
北 部	1	1
中 部	1	1
南 部	1	1

【北部】 北部・城山・鬼無里、アクアウィング

【中部】 芹田・安茂里・信州新町、サンマリーンながの

【南部】 犀南・茶臼山・青垣公園、南長野運動公園屋内プール

【北部】 （北部・城山：いずれか）、アクアウィング

【中部】 安茂里、サンマリーンながの

【南部】 青垣公園、南長野運動公園屋内プール



凡例

- 屋外プール
- 屋内プール

統廃合による効果としては、運営費が年間約2,400万円の減、改修改築費が今後10年間で約6億6千万円の削減となります。

削減された費用の一部を施設の長寿命化や魅力向上に充てることで、サービスの向上を図ることができます。



改修を行った「安茂里市民プール」



幼児プールとシャワーがきれいになったんだよ。

施設の複合化 ～芹田総合市民センターOPEN～

7月9日、芹田総合市民センターが竣工しました。この施設は、老朽化していた公民館の建替えにあわせ、支所を移転することで、2施設を複合化したものです。複合化は、トイレや駐車場、玄関、廊下などといった施設ごとに必要なスペースを共有することで、公共施設の面積を減らし、管理費用を節約することができるなど、様々なメリットがあります。現在、篠ノ井地区にも支所、公民館と老人福祉センターを複合化させた篠ノ井総合市民センターを建設中です。

住民の皆さんの利便性も考慮しながら、このような取り組みを積極的に取り入れてまいります。



建築物の施設数及び床面積 「公共施設の現状 2019」を公表しました

「公共施設の現状 2019」は、平成31年4月1日現在の公共施設(建築物)の総量等をまとめたものです。

本市では平成25年度に「公共施設白書」、昨年度は「公共施設の現状」を公表し、公共施設の現状や課題を示してきました。今後も毎年、前年度の公表値と比較した公共施設の変化について公表していきます(詳細はHP参照)。

前年度との比較(施設総量)

※表中の面積は四捨五入しているため、増減が計算結果と一致しない場合があります。

項目		2018公表値 【H30.4.1現在】	現状 【H31.4.1現在】	増減 (前年度との差)
総量公表施設		全施設	全施設	-
人口(人)【A】		378,389	376,080	- 2,309
施設保有量	施設数(施設)	1,396	1,369	- 27
	延床面積(m ²) 【B】	1,673,943	1,666,629	- 7,313
市民一人当たり面積(m ² /人) 【B/A】		約 4.4	約 4.4	+ 0.0
老朽化 (築30年以上)	割合 【C/B】	46%	47%	+ 1%
	面積(m ²) 【C】	767,724	785,492	+ 17,768

施設数は、27施設減少しました。これは、市立保育園5園の民営化に伴う学校法人などへの譲渡や、古くなった施設(旧教職員住宅や市営駐輪場など)を解体するなどして、施設が減少したことによるものです。これにより、延床面積も7,313m²(0.44%)減少しています。引き続き公共施設全体の床面積の「20年間で20%縮減」を目標に、一歩ずつ市民の皆さまにご理解いただきながら、公共施設マネジメントを進めてまいります。

地区別ワークショップ・懇談会にご参加ください！ —市民の皆さまと一緒に公共施設を考える—

地区別のワークショップ及び懇談会は、後期も以下のとおり開催を予定しています。
開催地区の皆さま、多数のご参加をお待ちしています！

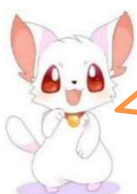


令和元年度後期 開催日程

※令和元年9月1日現在の日程です。
都合により変更する場合があります。

地区【開催形式】	開催日	開催時間	会場
中条【ワークショップ】	①8月20日(火)※開催済 ②9月19日(木) ③10月24日(木)	午後6時30分～	中条会館「大会議室」
川中島【懇談会】	9月9日(月)	午後2時30分～	川中島町公民館2階「大会議室」
第一【懇談会】	9月18日(水)	午後2時～	中央消防署1階「講習会室」
第二【懇談会】	9月20日(金)	午後2時～	城山公民館第二地区分館2階「集会室」
安茂里【懇談会】	10月9日(水)	午後1時～	安茂里公民館2階「学習室」
古牧【懇談会】	11月13日(水)	午後1時30分～	古牧公民館2階「集会室」
吉田【懇談会】	11月16日(土)	午後2時～	吉田公民館「大教室」
古里【懇談会】	1月15日(水)	午後2時～	古里総合市民センター「多目的ホール」
長沼【ワークショップ】	12～2月に2回開催で調整中		

◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、HPへ！
【長野市ホームページ>組織で探す>公共施設マネジメント推進課】



公共施設マネジメント推進に対する
皆さまのご意見をお聞かせください。
次号もお楽しみに！

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。

長野市 総務部 公有財産活用局 公共施設マネジメント推進課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel : 026-224-7592 Fax : 026-224-7964
E-mail : koukyou@city.nagano.lg.jp